

件 名	令和 7 年度 福井市障がい者自立支援協議会 第 1 回地域移行・地域定着部会 報告書		
日 時	令和 7 年 5 月 13 日(火) 14:00～15:00	会 場	福井メディックス 2 階
欠席者	暁委員、山崎委員、川端委員(代理岩本氏)		
報告事項	1. 令和 6 年度の取り組みについて：障がい福祉課 資料 1 ～ 5 2. 令和 7 年度の部会スケジュールについて：障がい福祉課 次第より		
協議事項	1. 令和 7 年度 of 取組について 資料 6 2. ワーキンググループの割り振りについて 資料 7 ～ 1 0		
報告事項	【市・見延氏】 ○新たな委員の紹介 ・社会福祉法人 げんきの家 オレンジハウス 中林佑弥 氏 ・社会福祉法人 六条厚生会 障がい相談支援センターふくい 山本正朗 氏 【部会長】 ○地域移行地域定着部会の説明		
質疑等	【森下委員】 話の中で、対象者を「地域移行を希望していて、枠組みに入っていない方」と名言していたが、希望していない人を希望するようにするのがこの部会の役割とっていいのか。 【部会長】 入院入所を希望していないが、入院入所している人である。その方が本当に入院入所を希望しているか、本人の希望をはっきりさせるのが大事であるとする。 【森下委員】 何も考えずに入院入所している人に、啓発活動していくのか？ 【部会長】 ゆくゆくはそうなることを望んでいる。 【坪田氏】説明の中で地域定着の視点が弱かった気がするが。 【部会長】 定着もしていききたいが、まずは移行だと考える。入退院を繰り返す方もいると思うので、今後考えていきたい。		
報告	(1) 令和 6 年度の取り組みについて 資料 1 ～ 5 【見延氏、山本氏、吉田氏、森下氏】 各資料の説明→質疑なし。 (2) 7 年度の部会スケジュールについて： 次第より 【市 見延氏】 資料の説明。→質疑なし。		
協議事項	1. 令和 7 年度 of 取組について 資料 6 【山崎部会長】 資料の説明→質疑なし。 2. ワーキンググループの割り振りについて 資料 7 ～ 1 0		

説明	GW
【部会長】 資料７にワーキンググループの割り振りを決めさせてもらった。その中からリーダー、記録係、報告係を決めてもらいたい。報告者はリーダーの人が休んだ時に発言したり、市役所との連絡役などを担ってほしい。グループ毎に協議し、結果を教えて欲しい。 ○グループ毎の協議結果 ・アンケート広報グループ：リーダー森下氏 報告（記録）奥村氏 ・研修グループ ：リーダー山本氏、 報告 中林氏、白藤氏が交代で行う。 ※担当未経験による 【部会長】 オブザーバーも指定させてもらった。分からない事があったら聞いて欲しい。また集まり等にも声を掛けてもらえたらと思う。 資料８のアンケート調査のＲ３年のものをつけさせてもらった。当時は道林氏と自分で直接頼みに行った甲斐あって、回収率は非常に高かった。参考にしてもらえたらと思う。 資料９と１０に昨年のピアサポーター募集と、出前講座のチラシをつけさせてもらった。今年もチラシ作成はお願いしたいと思っている。チラシを持って民生委員や地域の方に配布してもらっているが、無いと依頼も来ない。７月末には作成し、委託相談等に配布したいと思っている。以前、木田公民館で研修を行ったが、チラシの内容を期待されたわけではなかったが、様々な意見が活発に出て非常に良い集まりが出来た。事前打ち合わせを行うと、期待されている内容が、こちらの主旨と微妙に違うこともあり大変だと思うが、参加者の意識を変えるきっかけにもなると思うので、良い意見交換の場ができるように取り組んで欲しい。またアンケートを取って改善もしていって欲しいと思う。 【白藤委員】 Ｂ型とかグループホームで、利用者をがんじがらめにしている様子をを感じる。鍵を預けろとか、挨拶はしろとか、在宅ワークなのに熱を測れとか聞いてくる事業所がある。管理されたり保護されている場面が増えたと感じる。人の権利や自由等、自己選択ができづらい環境があると思うと、そういう人向けにも取り組みが出来たらと思う。 【部会長】 自立支援協議会の全体会で、事業所の在り方など検討してもらうためにも、意見を伝えていきたいと思う。自分の知っている事業所でも管理しすぎていると感じるところもある。良かれと思ってやっている面もあると思うので、伝えていけたらと思う。 【奥村委員】 アンケートについてだが、スケジュールは決まっているのか。 【部会長】 ２月までに結果が出ていたらと思う。 【森下委員】 福井市としてのバックアップはあるのか？ 【市　見延氏】 やれることはやらせていただこうと考えている。 【奥村委員】	

アンケートでとったデータは翌年度の活動に活用していくのか？

【部会長】

前はそうだった。

【奥村委員】

福井市の他の会議でも同じような調査があったが、どう使うかはそれぞれの機関にお任せか？前回取ったデータをどう使ったかのような評価や検証はされているのか？どこを目指してデータを集めればいいのか？

【部会長】

自立支援協議会の全体会では発表はさせてもらった。

【奥村委員】

前回と同じ内容の方が比較はしやすいと思う。似たような内容で、その後どうなったかが分かるといいのかなと思う。

【山本委員】

アンケート G と研修 G が密接でないといけないと思っている。部会の取組も地域から声があったのか、上がらないからこそその活動なのか、教えて欲しい。

【部会長】

この部会が出来たのは 10 年前だが、ニーズがあったかと言われると、なかったと思う。どっちかという自分たちが勝手に頑張っている感じなのかもしれない。

【山本委員】

ピアサポートグループの研修会だが、それを求められているのか？活用したら退院する人がふえたかなど、病院のワーカーの意見を確認できているのか？ピアサポーターの活動を病院ワーカーに分かってもらう活動も必要だと思うが、どのようにやっていくといいか。

【部会長】

やり方に正解はないと思う。ピアサポーター活動も誰が対象になるのかという問題にもなる。職員なのか、患者なのか。だがピアサポーターの良さは自分と似た境遇の人が体験談を話すことで、自分もやってみたいと思うところだと思う。本来は患者を対象にやると思うと思うが、病院の都合もあると思う。またその効果がどうだったかは、経験上は身近にいた人が退院することで、自分も退院したいと思ってくれたことが多かった。ピアサポーターの活動でどう変化があったか伝えていけたら。活動する人の自発性も大事だと思う。

【山本委員】

周知をした効果を教えて欲しい。

【部会長】

去年は依頼がなかった。

【山本委員】

依頼がない背景を追って行けたらいいと思う。奥村委員に病院の意見を聞きたい。

【奥村委員】

対象者はいるが、個別性が高くなってきており、グループ活動で退院を目指すような取り組みが難しくなっている。ピアサポーターの方のイメージが、どんな人が来るのかスタッフと共有できれば、患者に提案しやすくなると思う。先に情報を得ることができたらいい

	と思う。 【山本委員】 病院スタッフにどういう活動をするか知ってもらう機会があったらいいと思う。 【部会長】 チラシにも書いて欲しいと思う。以前研修した時に、家族会の場に来てもらえないかと依頼があった。いろいろ発掘すればニーズはあるかもしれない。 【森下委員】 自分たちもどのような活動をしているのか分からないので、この場にピアカウンセラーに来てもらって、話を聞く機会があったらと思う。
次 回	令和7年 8 月 12 日(火)14:00～